

ロシアによるウクライナ侵攻に反対します

「悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを追い求めよ」
(ペトロの手紙一 3 章 11 節)

平和を愛するすべての人々へ

このたびのロシアによるウクライナ侵攻は、明白な侵略行為であり、これまで人類が多くの犠牲を払って築き上げてきた近代社会の「自由」「平等」「平和」「人権」を重んじる努力を踏みにじるもの、また『国連憲章』（第 7 章 平和に対する脅威、平和の破壊及び侵略行為に関する行動）にも違反した国際法違反行為です。

わたしたち日本キリスト教会は、「愛と義と平和の主」に従う者として、このロシアの侵略行為に反対を表明し、以下のことを求めます。また平和を愛するすべての人々が、この祈りと訴えを共にしてくださるようお願いします。

- 1 ロシア政府が、ウクライナ侵攻をただちに停止し、ウクライナから軍隊を撤退させること。
- 2 ロシア政府が、今後も「力による現状変更」の企てを放棄すること。
- 3 そのために、国際社会が団結を示し、非暴力的な手段を用いてロシア政府にさまざまな圧力をかけ、平和構築のための建設的な議論の席につかせること。
- 4 ウクライナ国民すべての安全が保障され、主権が回復されること。
- 5 戦争避難民を周辺諸国が積極的に受け入れ、平和秩序が回復されるまで保護すること。
- 6 そのために必要な援助を、国際社会が行うこと。

また、わたしたちはウクライナの人々に連帯の意思を表明します。困難な状況の中にあるすべてのウクライナ国民の上に神の慰めと励ましを祈ります。

願わくは、「愛と義と平和の主」が、わたしたちのうちにもある、他者を支配しようとする高慢で自己中心的な思いを打ち砕いてくださり、まことに平和を愛し、隣人と共に歩む者としてくださるようとの祈りをもって、この声明を發表します。

2022 年 2 月 27 日

日本キリスト教会
大会議長 有賀文彦